

人体科学会 第 34 回大会 【 第一報 】

今年度の第 34 回年次大会は、大会のテーマを「こころーからだー暮らしをつなぐ」とし、12 月 14 日（土）・15 日（日）の二日間にわたって関西大学堺キャンパスで開催いたします。

新型コロナウイルスは、気候危機や経済格差など私たちが直面する様々な危機の根底に、人と人、人と自然の「分断」があることを浮き彫りにしました。しかし、こうした分断は今に始まったことではなく、その背景にはガリレオやデカルト以来 400 年以上の時間をかけて、自然科学と資本主義が人類全体の文化的社会的な唯一の基軸として確立された歴史があります。この歴史に対して本学会は「東西の文明の古い英知を現代において問い直」し、「従来の学問分野の境界を越えて、文科系から医療体育系、理工系まで総合した観点に立ち、各学系総力で未知の領域（身体・気・意識・霊性など）の洞察を深め、人間の本質を探究し、将来の世界における思想的理念を求めてゆくことを目標」として設立されました。この目標のもと関西大学では、2001 年の第 11 回大会（大会長：坂出祥伸先生「今、氣の世紀が始まる：こころ・からだ・いのちの危機と触覚の復権」）、2008 年の第 18 回大会（大会長：伴義孝先生「生き方の問題を問う」）と大学をあげた大会を開催させて頂きました。この第 34 回大会もこれら先達の示された問題意識と展望を引き継ぎ、わたしたちひとりひとりのワクワクする感覚と互いを思いやるところで繋がるコミュニティを創成する取り組みを展望したいと考えています。

第一日目には、研究発表・体験ワークショップ・会員企画のシンポジウムを通して、本学会がこれまでとりあげてきた氣の思想（例：気候危機における「天人合一」と「昇降開合」の意義）、人や自然とのつながり（例：エディブルユニバーシティ、協生農法）、生老病死とそのケア（例：コンパッション・シティ）といったテーマを如何にしてわたしたちの日常生活のなかで実践していくかを検討します。第二日目は会場である関西大学堺キャンパスにおいて、上田紀行先生（東京工業大学名誉教授・東海学園大学特命副学長）による基調講演（「わたしが輝けば、世界も輝く」（仮題））と、子どもや若者、高齢者、障がい者、地域に関わる様々な人が日々の生活の場で繋がりを紡ぎ出しウエルビーイングを実感できるコミュニティ構築の実験場を提供します。これは、湯浅泰雄が残した「“哲学”が終わる時代の新しい知」のあり方を検証した黒木幹夫が提案する「具体的な行為に関わるフロネーシスとしての『知』」の探求のために、大学キャンパスを新たな実践知の共創の場、ソーシャル・イノベーション・コモンズと位置付ける提案でもあります。

この大会を通して、わたしたちが学知（エピステーメ）と技術知（テクネー）と行為知（フロネーシス）を接続し、自らの生きる身体を通して生命の循環と多様性から学ぶあり方を日々の生活の場で実践することで、近代社会がもたらした「分断」から新たな繋がりが生み出されることを願っております。

記

日 時：2024 年 12 月 14 日（土）～15 日（日）

会 場：関西大学堺キャンパス（大阪府堺市堺区香ヶ丘町 1-1 1-1）

大会会長：村川治彦（関西大学人間健康部）

人体科学会第 34 回大会事務局：

E-mail：jintai34sakai@gmail.com

大会 HP：<https://jintai34sakai.info/>

◎ 大会テーマ：「こころーからだーくらしをつなぐ」

■2024年12月14日（土）

- AM ○ 研究発表・体験発表・会員企画セッション
PM ○ 理事会 ○ 研究発表・体験発表・会員企画セッション

■2024年12月15日（日）

- AM ○ 研究発表・体験発表 ○ 地域交流のイベント
PM ○ 会員総会・湯浅賞授賞式 ○ 地域交流のイベント
○ 基調講演 上田紀行（東京工業大学名誉教授・東海学園大学特命副学長）
「わたしが輝けば、世界も輝く」
○ シンポジウム

研究発表・体験発表・会員企画セッションの演題募集について

研究発表・体験ワークショップ・シンポジウム企画を希望される方は、8月31日（日）までに、氏名、所属、希望の種類、演題名、400字程度の要旨を、下記の大会事務局までEメールで送付して下さい。

E-mail : jintai34sakai@gmail.com

実行委員会にて採否を決定させて頂き、発表採択者には、抄録提出および発表時間などの詳細な内容を追って御連絡させて頂きます。会員（学術・一般）の皆様、奮って御応募下さい。

なお、大会に関する最新情報は、人体科学会第34回大会HP <https://jintai34sakai.info/>でお知らせいたしますので、ご確認をお願いいたします。